

# 令和5年度第1回『在宅医療と介護の市民講演会』を開催しました

テーマ：「在宅医療ってなあに？～あなたを支える医療と介護～」

\*開催日：10月14日（土） \*会場：小長井文化ホール \*参加者：49名

\*講演プログラム

①「介護保険サービス利用までの流れ」 諫早市介護保険課 黒木 敬治 様

②「在宅医療について」 山崎病院 山崎 善之 先生

③「人生100年時代～幸せと健康を支えるお口の話～」

ヒカリデンタルクリニック 原 美和子 先生

④「薬剤師も在宅へ訪問します！」 そうごう薬局小長井店 森本 裕志 先生



初めに、介護保険課より、介護保険サービス利用までの流れの説明や、諫早市が作成したACPの冊子を紹介されました。

山崎先生からは、たくさんの症例をご紹介していただき、在宅医療は多職種がしっかりと連携して、支えていく医療であるご講演いただきました。

原先生からはお口の環境と様々な疾患との関わりや定期受診の大切さ、訪問歯科診療について、ご講演いただきました。

森本先生からは、在宅医療における薬剤師の役割や実際の服薬支援について、またかかりつけ薬剤師をもつことをご講演いただきました。

参加された方からは、「とても参考になりました。在宅医療という選択肢があるのが良かったです。」「ぎりぎりまで自宅で過ごしたいと切実に考えています。訪問看護師さんやヘルパーさんの具体的な関わりについてもお話を色々お聞きしたいです。」「在宅医療や介護について、身近に感じることができました。」などのご意見をいただきました。

当センターでは、今後も市民の皆様を対象に、市内各地域で

「在宅医療と介護の市民講演会」を開催していきます。

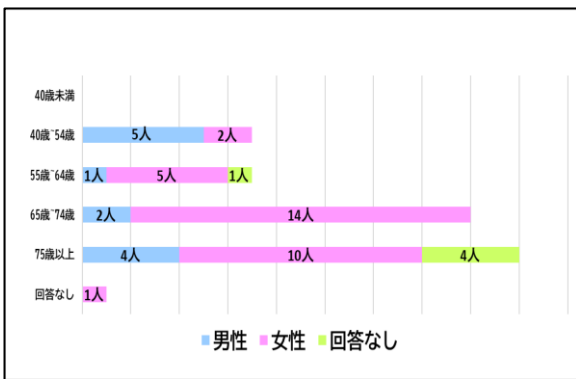


# 令和5年度 第1回「在宅医療と介護の市民講演会」アンケート集計

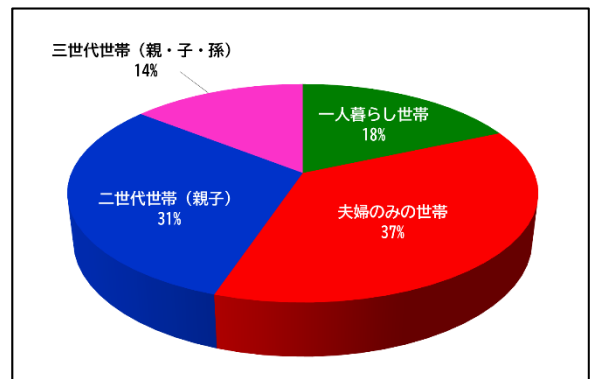
参加者数	49人
アンケート回答者数	49人
回収率	100%



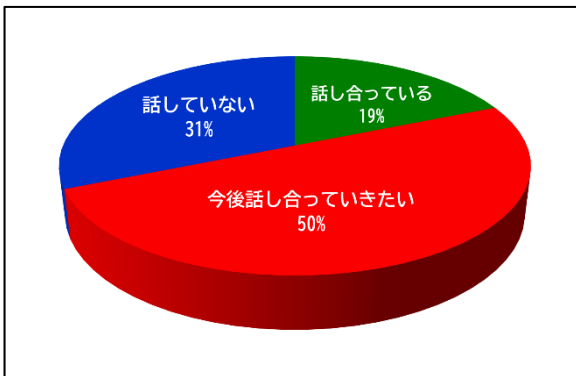
(1)性別・年齢



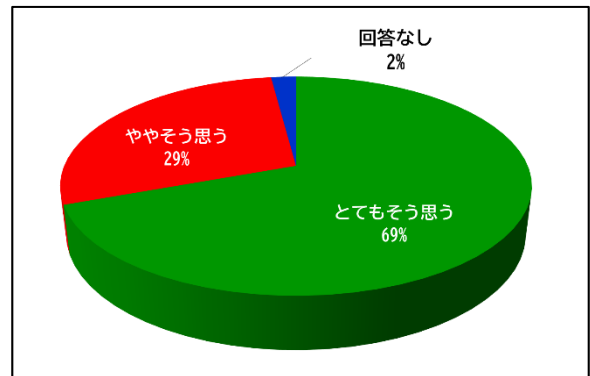
(2)現在、誰と住んでいますか



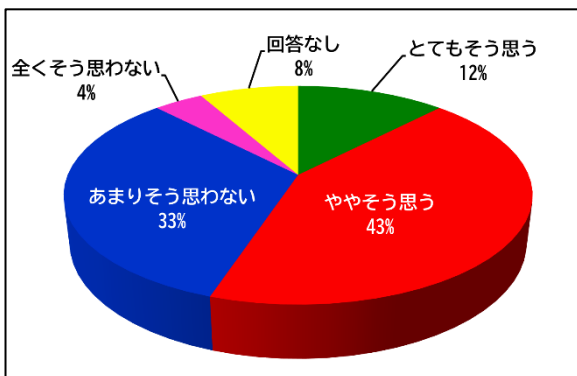
(3)介護が必要になった場合について、  
家族と話し合ったことがありますか



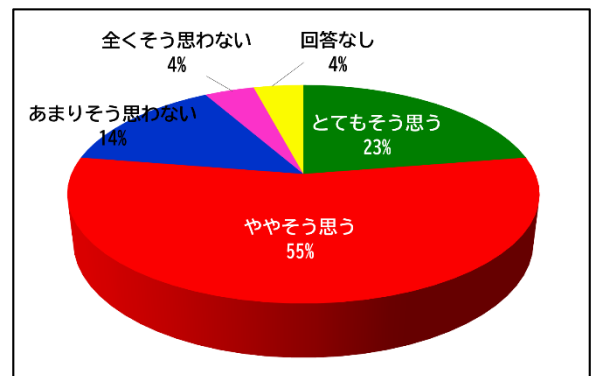
(4)自分や家族の望む医療や介護について、  
家族と話しあった方がよいと思いますか



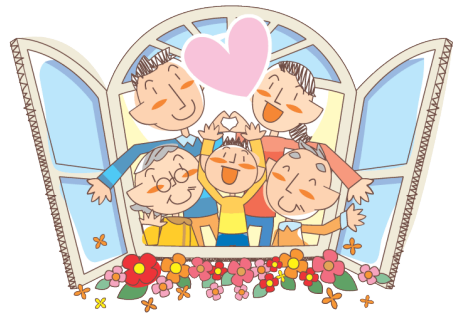
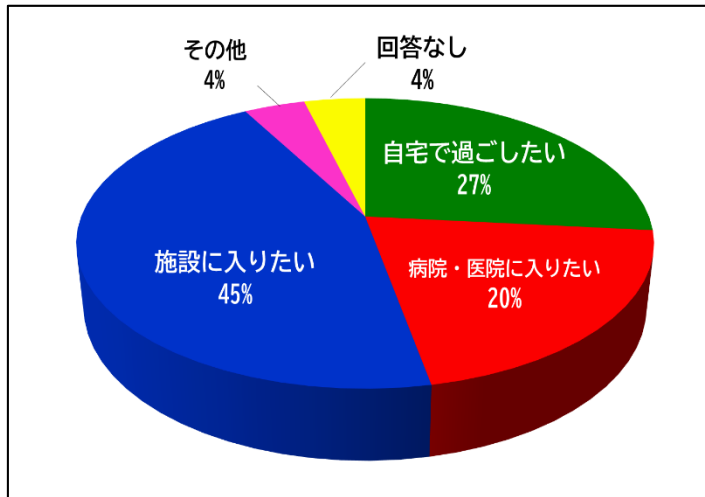
(5)出来れば介護は家族でする方が  
望ましいと思いますか



(6)介護が必要になったとき、  
家族の世話になりたくないと思いますか



## (7)介護が必要になったとき、どこで過ごしたいですか



### ■ 自宅で過ごしたい

- ・一人で過ごすのが、不安だから。家族がどうするかわからない。
- ・自宅での生活の質を低下させたくない。
- ・自由に生活できるから。

### ■ 病院・医院に入りたい

- ・自分自身、安心できる。
- ・介護の度合いにより、どちらかを選びたい。
- ・息子達（夫婦）は自分達が自宅で見ると、いってくれますが、息子達にも仕事と家庭があり将来の自分達の生活を守らなければなりません。犠牲にするのはさけたいと思います。

### ■ 施設に入りたい

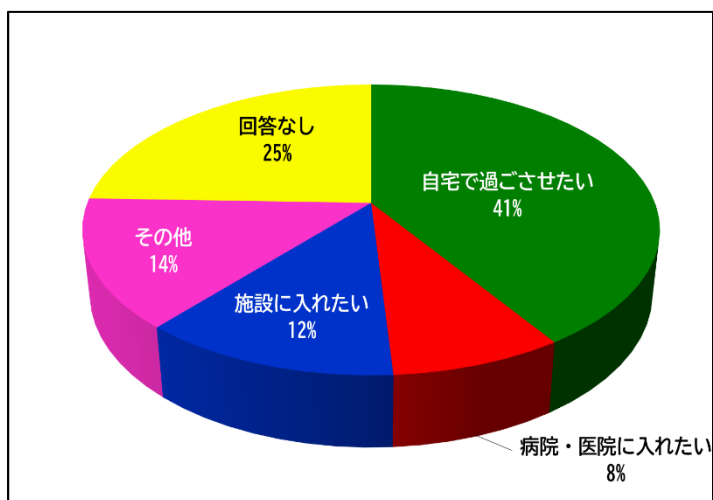
- ・一人暮らしが心配だから。
- ・迷惑をかけたくない。
- ・子供が晩婚で子供が小さいし、二人共仕事があるので、無理だと思う。
- ・子供に迷惑がかかる。
- ・子供には迷惑をかけたくない。
- ・家族に迷惑をかけたくない。けど、団魂時代で、人口が多いので最後まで元気に過ごしたいと思います。
- ・自分は子供達に迷惑をかけたくない。

- ・子供に迷惑かけられないので、生活がかかっている、いずれは施設にお世話になると思います。
- ・夫に迷惑はかけられない。
- ・子供もいないので。
- ・なるべく家族の負担をかけたくない。
- ・自宅では家族に迷惑になる。
- ・女房も体調不良だから。
- ・家族に負担をかけたくない。(4年前妻に75歳で先立たれ、いない)
- ・迷惑をかけたくない。
- ・家族の負担になりたくない。
- ・なるべく自宅で過ごしたい。介護度によりますので、介護にならないよう努力したい。

## ■ その他

- ・自宅・病院で過ごしたい。

### (8) 家族が介護が必要になったとき、どのようにしたいですか



## ■ 自宅で過ごさせたい

- ・自分が元気ならできるだけ自宅だが、無理な場合は病院へお願いしたい。
- ・ヘルパーさんの利用をさせてもらい、主人の世話は自分でしたい。
- ・自宅で住み慣れた自宅で過ごさせたい。
- ・コロナ渦で入院となると、面会などでできずに精神的に弱ってしまうので、できるだけ自宅で見てあげたいが、実際は、介護者の負担が重くなるので施設に看てもらおう事になるのではないかと考えています。

- ・できるだけ美しい自然の中で過ごさせたい。
- ・好きなように過ごさせたいから。
- ・自分が元気ならば、自分がみる。
- ・住み慣れた場所で過ごしてほしい。
- ・自宅で介護してやりたい。

## ■ 病院・医院に入れたい

- ・本人の意思を尊重。
- ・体に異常が生じた場合、安心できる。

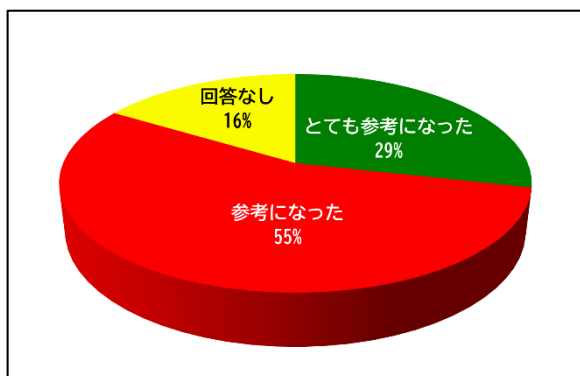
## ■ 施設に入れたい

- ・夫婦とも同じ位の年齢でお互いに身体も老化していくため、できないのでは？と思います。
- ・なるべくなら、無理ない範囲でともに自宅で過ごしたいが、負担を感じるなら早めに施設を利用したい。
- ・老人の私には介護できないと思うから。
- ・家族に負担をかけたくない。
- ・自宅と施設、両方。

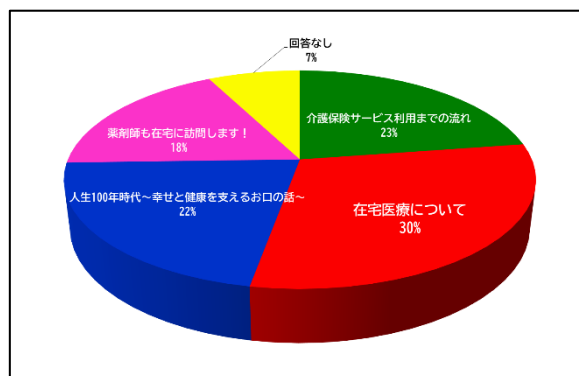
## ■ その他

- ・できるだけ自宅で過ごさせたいが、自宅で見る事ができなくなれば施設にお世話になると思う。
- ・本人の意思の尊重。
- ・自宅、病院なので過ごさせたい。

(9) 本日の講演は参考になりましたか



(10) 特に参考になった講演はどれですか (複数回答可)



## (11)本日の講演会についてご意見をお聞かせください

- ・多くの資料作りや御講演を御指導していただき、ありがとうございました。
- ・そろそろ終活を考えなければならない年齢になりつつあります。しっかり考えていきたいと思います。今年一年ずっと歯医者さん通いでした。もうすでに遅いですが、歯の大切さは痛感しています。
- ・山崎先生のお話をお聴きして、チーム医療、在宅で自分のことから家族と今後のことを話したい。少し気持ちが軽くなりました。
- ・とても参考になりました。在宅医療という選択肢があることがわかって良かったです。
- ・わかりやすかった。
- ・ぎりぎりまで自宅で過ごしたいと切実に考えています。訪問看護師さんやヘルパーさんの具体的な関わりについても話を色々お聴きしたいです。
- ・司会の声、小さく速い。ほとんど聞こえず、しゃべりすぎ。老人用は特に大きく、ゆっくり。山崎先生の話、もっともっとお互い助け合うこと大切ですね。歯は大切。80歳になり強く思っています。
- ・在宅医療、今まだ二人共病気（薬飲みながら）をかかえながら、なんとか生活できています。家庭の夫婦の役割も本当に困った事にならないと男性も実感できないと思います。
- ・自分の今後の事、しっかりと考え兄弟にはっきりと伝えておきたい。連れ合いも亡くなり、子供もいないので。いい話だったのですが、声をもう少し大きくゆっくり話してほしかった。特に司会者の人の声、全然聞き取れませんでした。
- ・これから介護する側、される側になるため、本日の講演は非常にためになりました。家族とも元気なうちに話をしていきたいと思います。
- ・80歳以上になると、あとの健康のことが心配です。医療の話を知ると、安心と不安も感じます。
- ・現在 85 歳、4 年前妻（75）に先立たれ、今は介護が必要となった時、家族に負担をかけたくないので、施設で過ごしたい。
- ・在宅医療や介護について、身近に感じることができました。
- ・多職種連携の必要性が重要と再認識した。
- ・専門職との連携と家族の協力が必要と思った。（在宅医療）また、虚弱体質予防が大事と講演を聞き考えるきっかけとなりました。
- ・今日参加された方は、在宅医療と在宅介護に関心がある。関心がない人に感心もたせたいので、3 サン TV 等で放送されたらいいのでは…。今日の講演は良かった。70 代以上の方は口の清潔に関心関心がない方が多いので、何かの会（サロン等）でも話していきたい。